

2-2)-19 営業から完成まで一貫して現場を任されることが、やりがいと喜びに

業種 建設業



規模 100人以下

- E社は、住宅の増改築リフォームを中心に事業展開している建築会社である。
- 同社では、一人の担当社員が顧客との営業、敷地調査、設計提案、工事手配、工事監理、引き渡しまで一貫して行っている。こうすることで引継ぎでの思い違いによる工事ミスや、仕上りイメージの食い違いをなくし、顧客のニーズをきめ細かく反映することができるという。
- 業務が多岐にわたるため、社員は幅広い知識を身につけていかなければならない。このため、E社では社員の研修の機会を多く設けている。社内勉強会を月1回開催、営業や工事等、毎回テーマを決めて研修を行う。この勉強会は社員同士の情報交換の機会にもなっており、普段それぞれの現場で抱えている疑問や悩みを解決できる場にもなっているという。また社外での研修についても、会社から参加を勧める場合もあるが、社員から希望が出されることもあり、出来る限り参加させ、交通費や研修費を会社から支給している。
- 社員の一人は、「仕事を一貫して任されるシステムは、責任やプレッシャーもあるが、やりがいを感じる。」と話す。「入社当初は経験が浅かったため、お客様にも自信のない対応になっていたと思うが、経験を積むことによって、お客様にこちらから様々なプランを提案できるようになった。そのような場面で自分の成長を実感できる」と言う。彼は入社前に何度か転職を重ねる中で、二級建築士の免許を取得していたが、「資格や免許と、実務とは全く違う。会社に入って学んだことの方が格段に多いですよ」と笑顔で話す。
- 組織として、社員の育成やフォローアップ体制がしっかりできているからこそ、社員が安心して仕事に取り組み、任されていることがやりがいや達成感につながっている。